

衆議院議員
根本 幸典
豊橋市議会議員(連続2期)。衆議院議員(連続3期)。第3次安倍内閣(第2次改造)において、国土交通大臣政務官兼内閣府大臣政務官就任。現在、衆議院 農林水産委員会・議院運営委員会・文部科学委員会委員。自民党水産部長代理。野菜・果樹・畑作物等対策委員会事務局長。



衆議院議員
城内 実
外務省を退官後、衆議院議員(現在5期、自由民主党)。外務大臣政務官、外務副大臣、党経済産業部会長、環境副大臣などを歴任。現在は自民党国会対策委員会副委員長、広報本部長代理。



※写真撮影の為に一時的にマスクを外しております

海外客の獲得、働き方改革など
道の駅の可能性はたくさんある

城内 道の駅を核としながら中山間地域に産業を生み、若い世代を呼び込むことが大事です。今はSNSで簡単に海外とつながれる時代です。

根本 圧倒的な集客力を持つのが道の駅です。今後、6次産業化を含めた新商品を行う際にも、売る場所を確保できるという点で大きな役割を果たすはずです。道の駅を利用する方は、観光客のみならず地元の方もかなりの割合を占めています。地域内外に広くPRができるという点でも力になると感じています。また、先日、道の駅とよはしが「防災道の駅」の指定を受けましたが、防災拠点として果たす役割も大きいです。今後は非常用発電などの整備を進めながら、城内先生の地域と防災面でも連携を図っていければと思います。

他地域の物産を販売するほか
防災の面でも密な連携を

城内 将来的に「三ヶ日・湖西・豊橋道路(仮称)」が完成すれば、道の駅を含めて物流がさらに活発化し、根本先生の地域で獲れた海産物を、私たちの山間地域の道の駅で販売するといった連携も図れると考えています。単に地元の物産を販売するだけでなく、他の地域の物産も積極的に取り扱うなど道の駅同士の連携に力を入れていくことが大切です。日本のご真ん中という地の利を活かし、海外の方との交流を図っていく必要もあると考えています。

根本 全国的な集客力を持つのが道の駅です。今後、6次産業化を含めた新商品を行う際にも、売る場所を確保できるという点で大きな役割を果たすはずです。道の駅を利用する方は、観光客のみならず地元の方もかなりの割合を占めています。地域内外に広くPRができるという点でも力になると感じています。また、先日、道の駅とよはしが「防災道の駅」の指定を受けましたが、防災拠点として果たす役割も大きいです。今後は非常用発電などの整備を進めながら、城内先生の地域と防災面でも連携を図っていければと思います。

「こんな場所に行ってみたいね」と思う方が増えれば、コロナ収束後には必ず集客へとつながるはずです。ただ、海外からのお客様を迎えるためには、道の駅の「多言語化」が課題です。多言語で地域のストーリーを伝えるなど、海外を意識したきめ細かな対応をしていくことが大切になると感じます。



(左)衆議院議員 根本幸典 (中)株式会社RSP道の駅 代表取締役 小池重善 (右)衆議院議員 城内実

根本 全国の道の駅の販売データを情報共有できれば、今どんなものが売れるのかを把握でき、それに基づいて6次産業化に取り組みることができ、道の駅には地場産業のマーケティング拠点になってほしいと思っています。また、東京と大阪の中間地点に位置することから、道の駅を東京と大阪間のトレーラーの中継地点と活用することで、トラックドライバーの働き方改革にも貢献できると考えています。まだまだ道の駅にはできることがたくさん秘められていますので、皆さんと一緒に知恵を出しながらさらに有効活用していきたいと思っています。

Dialogue

Congressman

Grasp of the world from region.
Infinite possibilities of roadside stations.

地域から世界を見据えて 道の駅が持つ無限の可能性

愛知・静岡の県境周辺に
魅力あふれる道の駅が点在

城内 私の静岡7区という選挙区は、浜松市の中心市街地にあたる隣の8区に比べ、圧倒的に面積が広く、中山間地域が大半を占めています。静岡県には全部で25の道の駅がありますが、そのうち4つが私の選挙区にあり、3つが中山間地の浜松市天竜区に位置しています。つい先日立ち寄ったばかりの道の駅「くま水車の里」のほかにも、「天竜相津花桃の里」「いっぶく処横川」という魅力的な道の駅があります。また、湖西市の道の駅「潮見坂」は、愛知県豊橋市とつながる交通の要衝にあり、防災拠点としても注目されています。

根本 私の地元である愛知15区は、県をまたいで城内先生の選挙区の隣になりますが、静岡から近いところから申し上げると、まず道の駅「とよはし」があり、田原市に入って「田原めぐくんはうす」と「あかばねロケーション」、そして渥美半島の先端には「伊良湖クリスタルポルト」があります。これらの道の駅は、最近では、新型コロナウイルスの影響が続く飲食店さんがお弁当を販売する場所としても大きな役割を果たしているようです。

キャンピングカーや自転車など
アウトドアとのコラボに期待

城内 中山間地域にお住まいの方の生活の糧として、地域の物産を販売するのが道の駅であり、トイレや飲食施設などの設備が整っているのが魅力です。今年6月に、日本RV協会と連携して「キャンピングカー」とくるま旅の普及を実現する議員連盟を設立いたしました。新型コロナウイルスの影響を受けて都市部からキャンピングカーで地方に足を運ぶ人が増えており、電源や給水設備などを充実させ、いざという時には仮設住宅としても活用できるキャンピングカー向けの施設を整えていこうと動いています。

根本 同じアウトドア関連で私が注目しているのは自転車です。静岡から愛知にかけて続く自転車道が国土交通省の「ナショナルサイクリン